

18. ハーフムーン島

南緯62度35分 西経59度54分
グリニッジ島とリヴィングストン島に挟まれた全長2kmの三日月形の島。本ガイドラインでは、付属の地図に示すハーフムーン島の東端部を扱う。

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



主な特徴

- ヒゲペンギン
- 植生
- アシナガウミツバメ
- ウェッデルアザラシとオットセイの上陸



概要

地形

ハーフムーン島は、島の中央から南東端部にかけて隆起した礫浜が続き、小高い丘と、連なった火成岩の岩場を特徴とする。丘の北側はガレ場の急斜面から成り、南側と東側は崖になっている。

動物相

繁殖が確認されている種：ナンキョクアジサシ、ズグロムナジロヒメウ、ヒゲペンギン、ミナミオオセグロカモメ、トウゾクカモメ、サヤハシチドリ、アシナガウミツバメ

定期的の上陸する種：オットセイ、ウェッデルアザラシ

植物相

*Usnea Antarctica*や固着性地衣類がペンギンのコロニー近くの岩場で見られる。隆起海岸や岩場の合間には、ナンキョクコメススキやナンキョクミドリナデシコのパッチが見られ、蘚類の生育もわずかに見られる。

その他

第一上陸海岸に小型捕鯨船がある。当該サイトの西方向にはアルゼンチンが夏季のみ使用する南極基地、カマラ基地がある。カマラ基地および関連構造物は本ガイドラインの対象から除外する。夏には、カマラ基地の科学者がこの島の随所で研究を行っている。

訪問者の影響

既知の影響

小道の侵食、植生の踏圧。

潜在的影響

野生生物への攪乱、植生の踏圧の拡大、野生生物が繁殖中の巣穴の損傷、小道の侵食の進行、小型捕鯨船の損傷。

上陸要件

船舶*

最大乗客数：500名

同時来島可能船舶：1隻

注釈：1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）船舶は3隻まで、そのうち乗客200名を超える船舶は2隻までとする。

*船舶の定義は、13人以上の乗客を乗せた船とする。

18. ハーフムーン島

南緯62度35分 西経59度54分
グリニッジ島とリヴィングストン島に挟まれた全長2kmの三日月形の島。本ガイドラインでは、付属の地図に示すハーフムーン島の東端部を扱う。

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



訪問者

同時に上陸・滞在できる訪問者数上限（探検ガイドとリーダーを除く）：100名

ガイド1名あたりの訪問者数：20名

上陸禁止時間帯（野生動物に休息時間を与えるため）：22:00～04:00

訪問区域

上陸区域

第1候補：島の南東端部の北岸にある小海岸。目印は小型船（シーズンの初めには船が雪に覆われていることがある）。

第2候補：第1候補サイトのすぐ西にある礫浜。

閉鎖区域

閉鎖区域A：第1候補上陸サイトのすぐ東にある小さな海岸岬。この場所でアジサシとミナミオオセグロカモメが定期的に営巣する。

閉鎖区域B：頂上にナビゲーションタワーがある小高い丘。この丘はヒゲペンギンの繁殖地であり、丘の急斜面の穴にはアシナガウミツバメがすんでいる。海岸が狭く、特に満潮時には歩ける場所が限られることから、閉鎖区域B周辺を歩くことは推奨しない。

ガイド同行での歩行（可能）区域

東端部を訪れる場合はガイドが同行すること。閉鎖区域Aの上方や、東海岸に向かう際に超える岩場の間にはペンギンの上陸・移動経路があるので、その経路を横切るときは野生生物に道を譲るよう細心の注意を払うこと。夏の一定期間中はこの区域で野生生物の活動が活発になるため、この時期の東端部訪問については慎重に検討すること。訪問が可能な場合は、動物相を攪乱することがないようにガイドの配置が推奨される。特にペンギンの移動経路、および推奨ルート上にある岩場の間では、できる限り動物を攪乱しないようにする。ハーフムーン島東端への小道はどこも狭いため、繁殖シーズンの始まり（10月）からペンギンの孵化期初期（1月中旬）過ぎまでは、この小道の通行を控えることが強く推奨される。

自由散策区域

訪問者は上陸海岸区域（第1候補）周辺を自由に散策することができる。また、西に向かう隆起海岸沿いのすべての南岸も、自由に散策することができる。当該地域では植生およびオットセイの有無に関して特に注意すること。オットセイは周囲の風景にカモフラージュ（擬態）している。この2区域間にはガイドを配置することが望ましい。

訪問者の行動規範

陸上での行動

- 小型船に触ったり、乗ったりしないこと。
- 科学調査活動が行われている場合は注意すること。
- 訪問者は「南極訪問者のためのガイドライン」に従って行動すること。
- アジサシは季節と季節の間で繁殖場所を変えることがあるので注意すること。アジサシがいらないかに気を付け、適切な距離を置くこと。

注意事項

- 上陸地点は東からのうねりの影響を受けやすい。
- 推奨ルートは狭い小道で、ペンギンの移動経路にもなっている。片側に寄り、適切な間隔を空けておくこと。近くにペンギンがいる場合は、ペンギンが通過するまで待つこと。

18. ハーフムーン島

南緯62度35分 西経59度54分
 グリニッジ島とリヴィングストーン島に挟まれた全長2kmの三日月形の島。本ガイドラインでは、付属の地図に示すハーフムーン島の東端部を扱う。

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



ハーフムーン島南東端部と上陸サイト



ハーフムーン島南岸の概観

